

“小型武器よさらば”

NGO国際会議 in TOKYO

～小型武器は「もうひとつの大量破壊兵器」～

現在、小銃など小型武器（地雷などを含む）が世界に蔓延しています。毎年50万人もの人々が犠牲になり、コフィ・アナン国連事務総長はいまや小型武器は「もうひとつの大量破壊兵器」であると言っています。小型武器の削減と管理強化が世界の人々にとって緊急の課題となっています。

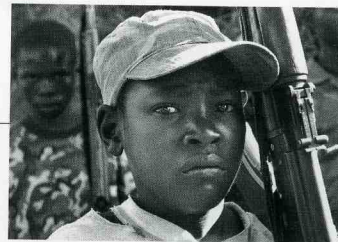
この国際会議は、各国の小型武器の現状や、NGOの活動、国連の取組み、啓発活動などについての報告を通じて、NGOが国連や政府とともに、小型武器削減と徹底管理達成のために知恵と力を出し合う可能性を追求しようとするものです。

小型武器問題にかかわる、児童兵の問題、平和構築など、国際貢献に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。日本から「小型武器の削減と管理」と「子どもたちを戦いの道具にさせないで」というメッセージを世界に発信していきましょう。

小型武器とは

自動小銃など、一人またはごく少人数で運搬、操作できる戦場用殺傷兵器の総称で、手軽さゆえに戦争終結後も、非合法に社会の中で拡散し続けます。現在世界に出回っている小型武器は推定5億個以上といわれ、世界中で、赤ん坊から高齢者まで12人にひとりが小型武器を持っている計算となります。

犠牲者は毎日平均1,400人余り、年間50万人を超え、その7割が女性と子どもです。また軽量（3kgのものもあります）で管理、操作が容易なこの種の武器は、子どもを児童兵化し、10歳未満の子どもまでが戦場に狩り出され、銃を持たされ戦わされています。過去10年間で200万人もの子どもがこの武器で殺害され、その何倍もの人が重症を負っているということです。



Reuters/Finbarr O' Reilly, courtesy www.alertnet.org

会議プログラム

5月7日(土) 10:00~17:00

- 基調講演** 堂之脇光朗（日本紛争予防センター副会長、元国連事務総長軍縮諮問委員会議長）：小型武器問題の現状と対策
 パトリック・マカーシー（ジュネーブフォーラム代表）：新しい外交？— 国連行動計画を推進する政府と市民社会のパートナーシップ
- 被害国からのアピール** 小型武器の深刻な現状 司会：バージニア・ガンバ（SaferAfrica代表）
 ウガンダ、アンゴラ、フィリピン、アルゼンチンのNGO代表者による報告／会場からのQ&A
- シンポジウム** 「小型武器は規制できるか」 司会：百瀬和元（ジャーナリスト、元朝日新聞編集委員）
 オーウェン・グリーン（ブラッドフォード大学教授）講演：供給面からの小型武器規制
 パネリスト：パトリック・マカーシー（ジュネーブフォーラム代表）、佐藤丙午（防衛研究所主任研究官）、松浦香恵（インターバンド事務局長代行）

5月8日(日) 9:30~17:00

- 基調講演** 猪口邦子（上智大学教授、前軍縮会議日本政府代表部特命全権大使）：小型武器削減にむけて
 松本仁一（朝日新聞編集委員、『カラシニコフ』著者）：自動小銃と失敗国家
- 被害地域での小型武器削減活動** 司会：堂之脇光朗（日本紛争予防センター副会長）
 伊勢崎賢治（立教大学大学院教授、日本紛争予防センター理事）講演：民主化の中のDDR（武装解除、動員解除、社会復帰）
 木田泰光（日本小型武器対策支援チーム・プロジェクトオフィサー）講演：カンボジア平和のための小型武器削減と開発プロジェクト
- シンポジウム** 「私たちに何ができるか：NGOの役割」 司会：吹浦忠正（難民を助ける会特別顧問）
 パネリスト：バージニア・ガンバ（SaferAfrica代表）：アフリカの被害国における小型武器削減の地域的取り組み
 オーウェン・グリーン（ブラッドフォード大学教授）、パトリック・マカーシー（ジュネーブフォーラム代表）、
 鬼丸昌也（テラ・ルネッサンス代表／日本小型武器行動ネットワーク運営委員）、マリア・ピア・デヴォト（アルゼンチンNGO代表）、リチャード・ムギシャ（ウガンダNGO代表）、アルフレッド・ルバンダ（フィリピンNGO代表）、シリロ・ムボンゲ（アンゴラNGO代表）
- 議長声明** 猪口邦子、柳瀬房子（難民を助ける会理事長、『地雷ではなく花をください』『小型武器よさらば』著者）

参加費

一般 2,000円 学生 1,000円

※参加には事前のお申し込みが必要となります。詳しくはお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせは

お電話

▶ 難民を助ける会
NGO国際会議事務局 ☎ 03-5423-4511

ホームページ

▶ <http://www.aarjapan.gr.jp/>



特定非営利活動法人 難民を助ける会 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル5F

AAR JAPAN Association for Aid and Relief, Japan

5F MIZUHO BLDG., 2-12-2, KAMIOSAKI, SHINAGAWA-KU, TOKYO, 141-0021, JAPAN

Tel: 03-5423-4511 Fax: 03-5423-4450 e-mail: aar@aarjapan.gr.jp URL: <http://www.aarjapan.gr.jp>